

ティーンズコーナー

# 新着図書

毎号新刊2冊をピックアップしてご紹介します！

資料「ティーンズ」を選択し、「集計」ボタンを押すと確認できます。

新しく入った  
ティーンズ図書すべての  
チェックはここから♪



# TEENS Libra

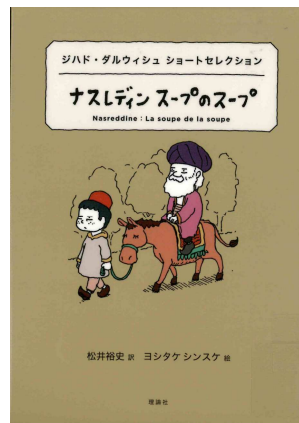
ティーンズ ライブラ 2023年冬号(No.36)



河出書房新社／編  
朝井リョウ（ほか）著  
河出書房新社  
2023.9（778）

## 14歳からの映画ガイド

各界で活躍する著名人たちが、10代の頃に観て励まされた映画など、それぞれの人生と重ね合わせておすすめ映画を語ります。中高生にむけた、映画を主題にしたメッセージ集にもなっています。映画だけでなく、職業や人生について考えるヒントもたくさん詰め込まれているおすすめの一冊です。



ジハド・ダルウィシュ／著  
松井裕史／訳  
ヨシタケシンスケ／絵  
理論社  
2023.9（929/ダジ）

## ナスレディン スープのスープ

ナスレディンというのは、賢いときもあれば愚かなときもあり、時にけちで、ほらふきだったり、人間のさまざまな面を体現した人物です。人生のおかしみや、宝物のような名言が隠れた小話集です。

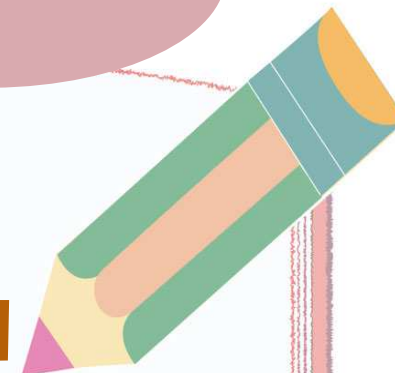
短いお話ばかりなので、勉強の息抜きなどに気になるお話から読むのもおすすめです。

スペシャルセレクト

# 「成績向上委員会」

## 勉強法に迷ったら…

中央図書館の人気コーナー「成績向上委員会」  
からおすすめ本をピックアップ！  
進路や勉強法のヒントが満載です



次号  
(2024年春号)  
3月1日  
発行予定です



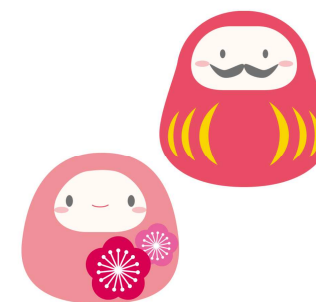
「ティーンズライブラ」が、皆さんの読書のきっかけとなれば幸いです。(M)

紙の本とはまた違うメリットがたくさんある、電子書籍。こまき電子図書館を、ぜひ利用してみてください。

寒い冬の季節、読みたい本があるけど図書館まで行くのがちょっと億劫…。そんなとき便利なのが、「こまき電子図書館」です。いつでもどこでもスマホ等でアクセスでき、「借りる」ボタンを押せば、気になる電子書籍をすぐに読むことができます。返却期日がいきたら、インターネット上で自動的に返却処理がされるので、返却の手間いらず。

紙の本とはまた違うメリットがたくさんある、電子書籍。こまき電子図書館を、ぜひ利用してみてください。

連載コラム  
本好きさんになろう！



こまき電子図書館  
ティーンズ  
絶賛配信中！

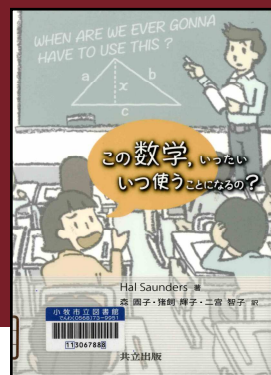




## 高校生のための文章読本

梅田卓夫/清水良興/服部左右一/松川由博  
【編】 筑摩書房 2015.1 (817.7/ウ)

どこにも行かない夏休み。日記に何を書こうかなと悩んだことはありませんか。この本は小牧工業高校(現在の小牧工科大学)で国語を教えていた先生たち4人が編著者となり、今から30年以上前に出版されたロングセラーです。内容は単なるノウハウにとどまらず、「書く」とは何かということを深く考察しています。一見、何も無い日常の中にこそ、「書く」ことはいっぱいあるかもと、勇気を与え、そっと背中を押してくれる一冊です。



このタイトルと同じ疑問を持ったことがある人～！その疑問、この本で解決します！

100種の職業の方に、数学の項目のうちどれをどのように使っているか取材して作った数学の問題と職業別一覧表が載っています。例えば分数は、弁護士に栄養士、カメラマンや株式仲買人など。あなたのなりたい職業でどんな数学が必要になるのか、ぜひ確認してみてください。未来に使うとわかると、より勉強に身が入るかも！

## この数学、いったいつ使うことになるの？

Hal Saunders/著 森園子/訳 猪飼輝子/訳  
二宮智子/訳 共立出版 2019.5 (410/サ)

## 自分はバカかもしれないと思ったときに読む本

竹内薫/著 河出書房新社  
2013.3 (K379)

こっそり書棚から手に取ってしまいました。読み終えた時には何ともすがすがしい気持ちになります。

環境が変わって新しくスタートしなければならなかったりすると、周りの人達との差に後ろ向きな考えになることはありますよね。そんな時はぜひ！「バカはこじらせなければ大丈夫！」と背中を押してくれますよ。



### 参考書を読む→問題を解く→答えを確認する。

この順序以外で勉強をしている方は、この本を読まなくても大丈夫？

小学5年生まで九九を覚えられなかったという著者が、難関の司法試験に合格し弁護士となるまでにご自身が実行してきた「ずるい」勉強法をあますところなく教えてください。

『図解版ずるい暗記術』(379.7/サ)もあります。お好きなタイプを読んでみてください。

## ずるい暗記術

偏差値30から司法試験に一発合格できた勉強法  
佐藤大和/著 ダイヤモンド社 2015.9 (379.7/サ)

## 総合学科高校

### 中学生のキミと学校調べ

小杉真紀/著 山田幸彦/著 吉田真奈/著  
ペリカン社 2023.4 (366.2/ナ)

ティーンズのみなさんにはお馴染みの「なるにはBOOKS」シリーズの高校調べの1冊です。普通科、専門学科に続く第三の学科といわれる、総合学科高校を知るための内容になっています。現在は公立を中心に全国で400近くあり、生徒一人ひとりの個性を尊重し、得意なことや興味関心に寄り添い育てていくという学科の魅力が詰まった高校。進路に迷ったら学校選びの参考にしてみたいかがでしょうか。



インタビュアーは元日本テレビアナウンサーの柘太一さん。柘さんといえば、理系出身でアナウンサーになった経歴の持ち主です。「心は理系・体は文系」だったと語る柘さん。やりたいことと得意な科目の不一致に悩んだこともあるそうです。「科目の得意・不得意ではなく、好きなこと、やりたいことで進路を選ぶ」という点は理系・文系を問いません。様々な分野で活躍する7人の、それぞれの進路選択に至るストーリーも読みごたえがあります。

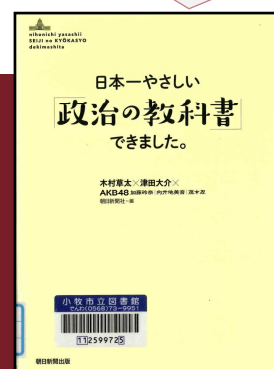
## なぜ私たちは理系を選んだのか 未来につながる〈理〉のチカラ

柘太一/著 岩波書店 2021.5 (407)

## 日本一やさしい「政治の教科書」できました。

木村草太/著 津田大介/著  
加藤玲奈/著 向井地美音/著  
茂木忍/著 朝日新聞社/編  
朝日新聞出版 2017.7 (379.4/キ)

今、政治とか投票って難しそうだし、苦手だな…そんなあなたにお薦めなのがこちら。10代のアイドルの方と憲法学者、ジャーナリストの著者が、「法律って何だ!?!」「高校生も選挙活動できる!?!」など、身近な疑問をもとに、日本の政治や選挙の仕組みを対談形式で解説しています。面白くて勉強になる一冊です。



31歳でパリの国連へ転職した著者の5年半の国際見聞録。国籍さまざまな同僚たちや、パリでさまざまな仕事をして暮らす日本人との交流の日々。外国で暮らすということ。国際機関で働くということ。就職・転職すること。自分のこれからの人生やキャリアについても考えさせられます。筆者のユーモラスな筆致にくすっとしたり、世界が抱える問題を考えさせられたり、一気に読んでしまうおもしろさです。

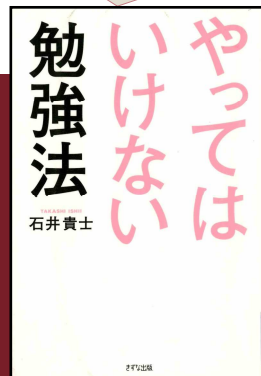
## パリの国連で夢を食う。

川内有緒/著  
イースト・プレス 2014.9 (916/カ)

## やってはいけない勉強法

石井貴士/著 きずな出版  
2017.9 (375/イ)

今までの自分の勉強法は大丈夫?!なんて不安になってしまうタイトルですが、この本もたくさんある勉強法の一つ。分かりやすい45の〇×問題で「天才」になるための勉強法を極めていきます。天才になんてなれるわけがないとつい考えてしまいますが、いまの自分(のやり方)ではなく、新しく生まれ変わる(方法に挑戦する)のだと思えば、なんだかできそうな気がしてきます。記憶法、ノート術、読書法、そのほか気になるところから気楽に始めましょう。



### ■紹介作品(50音順)■

- 高校生のための文章読本
- この数学、いったいつ使うことになるの？
- 自分はバカかもしれないと思ったときに読む本
- 14歳からの映画ガイド
- ずるい暗記術
- 総合学科高校
- ナスレティン スープのスープ
- なぜ私たちは理系を選んだのか
- 日本一やさしい「政治の教科書」できました。
- パリの国連で夢を食う。
- やってはいけない勉強法

↓予約はこちらから



2023 冬

成績向上委員会

勉強法に迷ったら…